

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	23.5 p	7.9 p ↑
不動産流通業（住宅地）	Δ 12.3 p	Δ 1.4 p ↓
ビル賃貸業	8.3 p	Δ 6.3 p ↓

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	Δ 5.9 p	Δ 13.7 p ↓
不動産流通業（住宅地）	Δ 7.7 p	Δ 7.7 p ↓
ビル賃貸業	6.3 p	4.2 p ↑

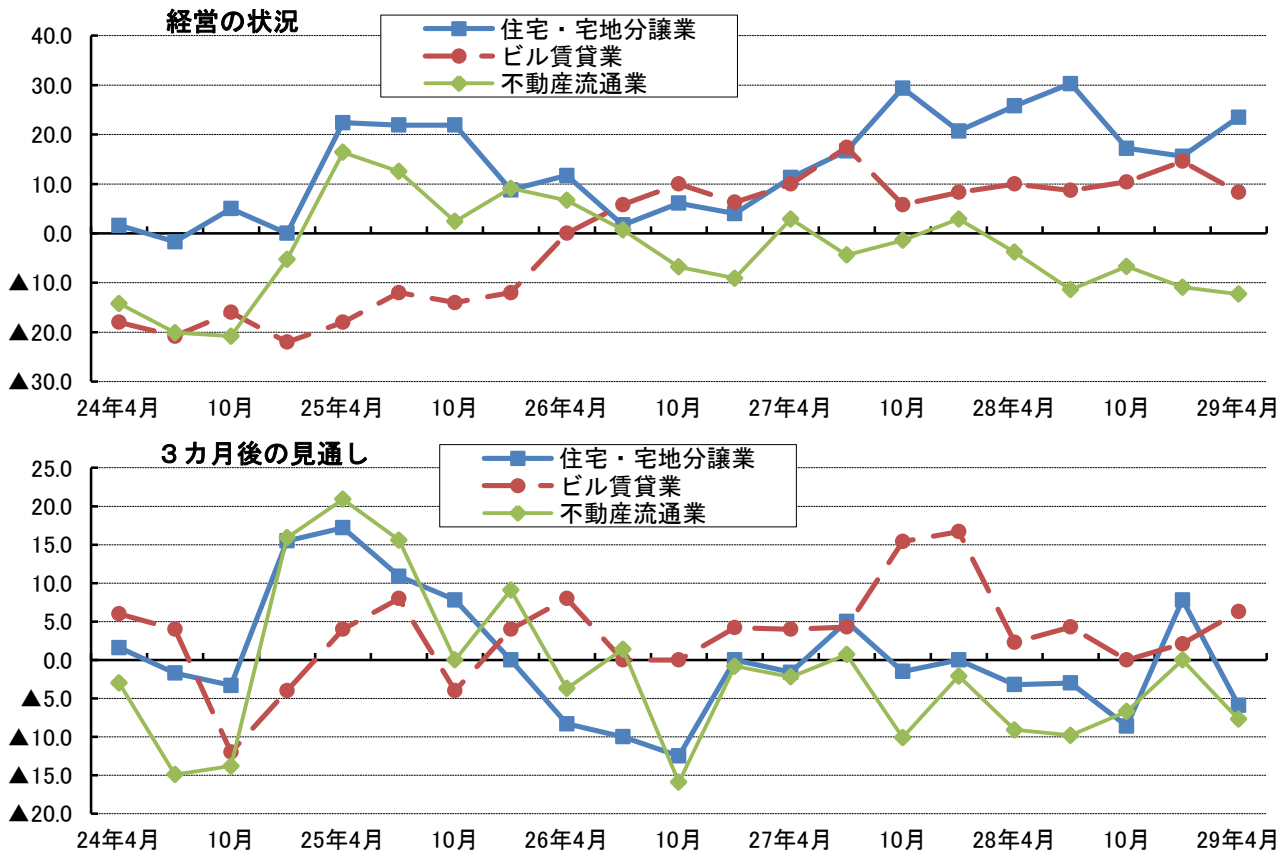
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から7.9p改善し23.5p。17期連続のプラス水準。
 不動産流通業は前回から1.4p悪化しΔ12.3p。5期連続のマイナス水準。
 ビル賃貸業は前回から6.3p悪化し8.3p。12期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、ビル賃貸業で改善、住宅・宅地分譲業および不動産流通業で悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」